

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆2009年9月3日☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆！！九段会計通信！！☆☆☆☆☆☆☆☆

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆http://www.kudan-tax.jp/☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

◇九段会計通信 Vol. 4のコンテンツ◇

- こんなときどうなる？身近な税務トピック
 - ・貸倒編～取引先が倒産したら！？
- 温故知新なく九段的ヒトコト>
- 編集後記

徐々に蝉の声が寂しさを感じさせる頃となりました。
今年の夏は台風や地震等の天災が相次ぎました。
当然視している日常が、実は当然ではないと感じる今日この頃です。
それでは九段会計通信第4号をお楽しみ下さい。



≡■こんなときどうなる？身近な税務トピック

●貸倒編～取引先が倒産したら！？
100年に一度の大不況と言われるこの時代、取引先が倒産する、
という危機も出てくる可能性があります。そうすると怖いのが、「貸倒れ」です。
未回収の債権の入金が無くなるのは大変なことです。
そのようなことが起こらないようにまず未然に防ぐことが大切です。

【貸倒防止策】
・新しく取引をする場合、取引先の情報を収集し、好条件でも、
まずは少額取引でスタートする。
その後、信頼できる相手だと判断できれば、徐々に取引額を
大きくする(信頼できると思い、いきなり多額の取引を行うのは危険です)
・業界のアンテナを常にはる
・社長の様子が変わった、社員が会社の悪口を言うようになった、など、
少しでも危ないと感じたら、まず営業マンをいかせ、情報を収集する
・本当に危険を感じたら、取引を停止する
・他社よりもまず自社の債権を先に弁済させるよう行動する
(万が一自分が倒産しそうな場合、どういう会社に先に債務を弁済してしまうかを考えて
行動する)
などです。

しかし万が一貸倒れが起こってしまったとき、税務上はどうなるのかをまとめてみました。

まず、倒産といっても、いろいろなパターンがあります。
会社が消滅する「破産」、会社の存続・再建を目指す再建型の「民事再生」、「会社更生」、
「特別調停」。そして、裁判所を介さない私的整理型のもの。
税務・会計上、会社更生法の更生手続開始の申立や民事再生法の
再生手続開始の申立を行った場合などのように、
「事実上倒産」した状態にある場合、まず貸倒引当金を繰り入れます。
そして、会社更生法による公正計画認可の決定民事再生法による再生計画認可の
決定があったときに、貸倒損失として、計上します。

この計上時期が妥当かどうか、税務調査になった場合、問題になりやすいところです。

法的手続が完了する前に貸倒損失として、税務上損金にすると、否認されるおそれがあります。
先方がどのような手続をし、どのような状態にあるのか、常に情報収集をし、その取引を控え、全ての証拠書類を用意しておく必要があります。
また、10万円以下の少額債権の場合、弁済を受けられる場合がありますので、迅速な動きが必要になります。

また、「中小企業倒産防止共済」というものがあります。
一定の条件のもと、得意先が倒産した場合は、貸し付けが受けられます。
個人でも加入できますので、ご参考下さい。

独立行政法人 中小企業基盤整備機構
セーフティ共済

<http://www.smrj.go.jp/tskyosai/index.html>

また、万が一のときは、弁護士の先生もご紹介できます。
何かございましたら、直ちに弊所職員までご連絡下さい！



≧■温故知新なく九段的ヒトコト>

いかにすぐれた才能があっても、
健康を損なってしまえば十分な仕事もできず、
その才能もいかされないまま終わってしまいます。
(松下幸之助、松下電器産業創業者)

冒頭にも書きましたが、いつもの「日常」は
実はいつ崩れてもおかしくないものです。
それは、今夏のような「天災」しかり、突然の「事故」しかり。
そして、急に襲ってくる「病氣」もまたしかりです。

もし明日、自分に病魔が襲ってきたとしたら。
もし、社員が病に犯されたら。身内に降りかかってきたら。
就業環境や日頃の生活に問題はないでしょうか？
なによりもまず「体が資本」です。

戦後の大経営者も、健康に気を遣うことでリスクヘッジをしていたのでしょう。



≧■編集後記

通信制の学習をすると、必ずかさばるテキスト類。
小学生のころ、進研ゼミをやりましたが、テキストが増えるのみで、消化できませんでした。
それなのに、捨てにくい・・・
取っておいても再び開くことはないのに、「いつかやるだろう」と思ってついつい押入れの中へ。
テキストのみならず、洋服も「いつか着るだろう」、もらいものの食器類も「いつか使うだろう」
・・・そうやって、溜めるくせがついてしまうと、必要なものまで埋もれてしまいます。

ビジネスもしかり。
不必要なものは取り除く癖をつけないと、特に変化の激しいこの時代では、
対応しきれません。
不必要な脂肪にまみれた体では機敏に動くことはできません。

しかし、増やすことは簡単ですが、減らすことって難しいですね・・・
押入れの中も、お腹周りの贅肉も、そしてビジネスも・・・
定期的に無駄なものはないか、整理整頓して、スリムな体をキープすることが
重要かもしれません。

メールマガジン編集担当 矢合 真弓
